

### 2600社出展

NEW環境展・  
地球温暖化防止展

2021NEW環境展  
・地球温暖化防止展が17  
日、都内で開催され  
た。約2600社団体（8

50小間）が出展、地盤  
・土壌改良や石炭灰の有  
効活用など環境配慮型の  
技術や製品、取り組みが  
紹介された。

チヨダマシンナリー（埼  
玉県杉戸町、山下則夫社  
長）は、攪拌羽根を用い  
ない画期的な機構により  
混合物を加速しランダム  
方向に振動させながら短  
時間で混合を行う「オー  
エムミキサー」シリーズ  
や火力発電所から排出さ  
れるフライアッシュ（石  
炭灰）を有効活用し、安  
定した高品質な再生土・  
再生骨材を製造する灰固  
化リサイクルプラントな  
どを紹介した。

菱光石灰工業（東京都  
千代田区、小澤教良社  
長）は消石灰複合材の  
「ソルバリット・シリー  
ズ」や「ハイパーシリー  
ズ」、高反応性消石灰の  
「ピシカル」など、ご  
み焼却場向けの高機能石  
灰製品を中心に展示し  
た。

西日本砕石（愛媛県新  
居浜市、岡寛社長）は愛  
媛県ブースに出展し、県  
認定優良製品であるクリ

ンカアッシュ（石炭灰）  
をリサイクルした土壌改  
良材「耕力砂（こうりよ  
くすな）」と「耕力堆肥  
（こうりよくだいひ）」を  
紹介した。

建設業者や中間処理業  
者等で組織する泥土リサ  
イクル協会は、事務局と  
して策定に取り組み18年  
5月に発行された「再生  
石膏粉の有効利用ガイド  
ライン」（国立環境研究所  
資源循環・廃棄物研究セ  
ンター）を紹介。同ガイ

ドライン策定プロシエ  
クトは「令和2年度3R推  
進功労者等表彰」を受賞  
している。

全国建設発生土リサイ  
クル協会は4月の協会設  
立を前にブース出展し、  
全国団体発足の経緯や10  
月7日に大阪府内で開催  
予定の「土サミット20  
21」を紹介した。協会  
は昨年10月に開催した  
「土サミット」の運営母  
体である宮城、埼玉、石  
川、長崎4県の建設発生



#### 業界関係も出展

土リサイクル  
関連団体の所  
属事業者を中  
心に、定置式  
改良土プラン  
トを有する建  
設発生土リサ  
イクル会社約  
30社が正会員  
として加入す  
る見通しであ  
る。